

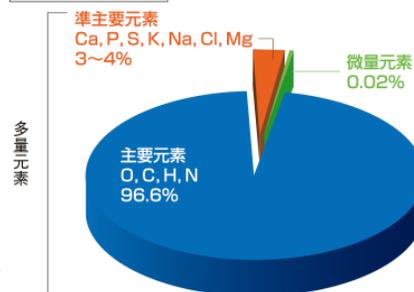


微量元素について

微量元素とは、一般的には体内において鉄あるいは鉄よりも含量が少ない元素を指します。

微量元素全体でも体組成の0.02%にしかありませんが、微量元素量の増減は生体の酵素機能や酸化還元機能に影響を与えます。

生体を構成する元素



ヒトでの必須微量元素は鉄、亜鉛、銅、マンガン、ヨウ素、コバルト、クロム、セレン、モリブデンの9種類があげられています。



ミネラミックにはそのうち鉄、亜鉛、銅、マンガン、ヨウ素の5種類が含まれています。



Q. 毎日投与する必要があるの？

A. 1日に排泄した微量元素はその日に補うべきであり、補わなければ、すぐに欠乏症は出なくても微量元素の不足は起こります。

経口摂取不可能な術後の患者のTPN輸液中に微量元素を隔日しか投与しなかった場合、亜鉛の血中濃度を調べると術後2週間たっても正常域内に戻らなかったという例も報告されています。



Q. 毎日投与して過剰のおそれは？

A. ミネラミックに配合されている微量元素の量は、毎日投与した場合に、健常域内に血中濃度を保つことができる量として設定されています。

Q. 高齢者で量の増減は必要ですか？

A. 高齢者に対する静脈栄養時の微量元素の投与量に関しては確立していませんが、日本人の食事摂取基準では、成人に比して若干少ない量になっています。